

令和6年10月9日

令和6年度第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会次第

1 開 会

2 報 告

3 議 題

- (1) 小金井市一般廃棄物処理基本計画等諮問
- (2) 令和7年度小金井市一般廃棄物処理計画諮問
- (3) その他

小金井市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	選出委員	選出区分
1	渡辺 浩平	学識経験者
2	岡山 朋子	
3	溝入 茂	
4	岸野 勝利	一般市民
5	光明 圭介	
6	中村 光志	
7	橋爪 文彦	
8	林 和夫	
9	北村 桂子	集団回収実践団体 代表
10	多田 典子	
11	清家 洋子	消費者団体代表
12	保谷 匠	事業者代表
13	長友 優佳	
14	石原 秀一	ごみゼロ化推進員 代表
15	井上 真紀子	

任期：令和6年7月1日～令和8年6月30日

※中村委員においては令和6年10月1日～令和8年6月30日

第 4 回審議会でのアンケート調査全般に係る意見と対応方針（案）

※各設問に対する直接の意見は資料 2、3 参照

	意見の概要	対象	対応方針（案）
1.	アンケートの対象は個人なのか、世帯主なのか。 (石原委員)	【市民】	個人だが、依頼文にて「ご本人が記入いただけない場合は、ご家族の方がご回答ください」とし、アンケートをもらっても回答できないといった状況は避けることで考えている（前回と同じ方法）。
2.	食品ロスについての設問が多いが、アンケート者抽出もそれを考慮して抽出してはどうか。(溝入委員)	【市民・事業所】	本アンケートは市民の方の意識、取り組みについての現状を把握するためのものであるため、抽出者を選定することはせず、無作為抽出を行う。
3.	業種ごとに分けた後にアンケート回答者を抽出するのであれば、無作為抽出ではないのではないかと。(渡辺会長)	【事業所】	市の事業所数における特性を考慮し、各業種で何サンプル抽出するかを先に決めた上での無作為抽出（層別抽出）。経済センサスのリストから業種情報別の事業所数に応じて対象を抽出する。
4.	回答者、データ処理担当者としてはマークシートの方が楽ではないかと。(橋爪委員)	【市民・事業所】	マークシートだと自由記述ができないことから、郵送・Web 併用のままとする。
5.	設問分の語尾を「？」ではなく「。」にしているのは意図的かと。(渡辺会長)	【市民・事業所】	いずれかに統一されていけば問題ないと考えため、前回アンケートを踏襲し、「。」で統一する予定。
6.	無作為抽出の回答だけでなく、市 HP 等に QR コードを出す等、不特定多数の方に回答してもらうようにしてもよいのではないかと。(中村委員)	【市民・事業所】	市民以外も回答できてしまうこと、多重回答を防げないこと等から、無作為抽出のみとする。
7.	市として発生源をなるべく少なくしてごみの量を削減するというわりには、それに関する質問がないような気がする。必要なものはやむを得ないが、一方でチラシ、お歳暮、年賀状、バレンタインデーなど、予期せず発生してしまうものは確実にごみを増やしている。どういう習慣によってチラシ等がごみとして出ているのか聞き、それを受け、市としてこういう習慣は改めていくなどとしてはどうか。(中村委員)	【市民】	事業者の営業活動に大きく関連する内容であり、市のアンケートで聞くことは困難と考える。 なお、ごみ発生量を減らすための取組みは Q6 で聞いている。

	意見の概要	対象	対応方針（案）
8.	費用対効果を考慮して実際に市ができることを選択肢として設定する必要があるのではないか。（中村委員）	【市民・事業所】	選択肢には実際に市としてできそうなものを入れている。
9.	設問を次にどうつなげるのかを考えていただきたい。（中村委員）	【市民・事業所】	資料2・3の（参考）のとおり。
10.	20代に一番アプローチをすべきだと考えるため、その点を考慮して設問を設けてほしい。（中村委員）	【市民】	どの年代にどんなアプローチをすべきかは、年代別のクロス集計結果をもって検討したい。
11.	次へつなげるため、アンケート後にフィードバックをするべきではないか。（橋爪委員） 依頼文にアンケート結果がどこで見ることができるのか記載をしてほしい。（橋爪委員）	【市民・事業所】	とりまとめ結果は基本計画資料編なりで公表予定であり、市民も見ることが可能である。市報等で別途配信するかも検討し、可能な範囲で記載する。
12.	アンケートが情報共有になればよいが、アンケート結果の誘導になりかねないので、注意が必要であるとする。アンケートは市民が何を知り、どう思っているか、どう行動しているかを把握するために行うのか、それともPRするために行うのか、その点を考えてやるべきだと思う。（渡辺会長）	【市民・事業所】	実態や課題の把握が目的であり、市の施策説明等は補足的な情報なので、後者に寄りすぎないように留意して進める。
13.	市民の方に、自分には何ができるのか考えてもらえるようなアンケート内容にしていきたい。（井上委員）	【市民】	各設問の選択肢等をもって求められている行動を知ってもらうこととしつつ、No.10のフィードバックの結果をもって考えてもらえるものとした。

	意見の概要	対象	対応方針（案）
14.	<p>何を目的にアンケートを行うのか理由が必要だと思う。(橋爪委員)</p> <p>非常事態宣言から今の状況も含めて、小金井市の今までの取組を記載してもらえないか。(溝入委員)</p> <p>浅川清流環境組合新可燃ごみ処理施設の使用可能年数を知っているかの設問があってもよいのではないか。(渡辺会長)</p>	【市民・事業所】	依頼文に記載し、周知する。
15.	<p>前は法人登録している事業所から抽出するというのだが、今回はどうするのか。(渡辺会長)</p>	【事業所】	<p>今回はセンサスのリストから抽出することを想定としており、リストには保育園も入ってくる。なお、万が一この方法ができなかった時には、前回と同じように法人登録している事業所からの抽出を考えている。</p>
16.	<p>法人登録している事業所が対象ということは、保育園は入らないのか。(井上委員)</p>	【事業所】	
17.	<p>事業所は、回答した人の役職などが分かるとういのではないか。(渡辺会長、橋爪委員)</p> <p>回答者を特定できてしまう役職等を聞くことは避けた方がよいのでは。しかし、例えばこちらから鑑文の中に、こういう部署の人に答えて欲しいという事があれば書き加えることは可能である。ただし、事業形態や規模など余りにも多様であることから、やらない方がよいと思われる。(岡山副会長)</p> <p>できればごみに関わっている担当者が回答するのが望ましい。どういう書き方をしたら一番回答してもらえるかを考えてやるしかない。(渡辺会長)</p> <p>封筒の頭に、何とか株式会社・何とか事業所ごみ担当者御中と書いて、そこの事業所で判断してもらえばいいのではないか。(溝入委員)</p>	【事業所】	<p>基本は普段ごみを扱っている人に回答してもらうよう、依頼文に記載することを想定している。その方が正確な回答を得られるとともに、回答率も上がると考える。</p>

	意見の概要	対象	対応方針（案）
18.	発行主体は小金井ではなく、小金井市環境部ごみ対策課でよいのか。（橋爪委員）	一般廃棄物処理計画	特に決まりはないが、今回は「小金井市」とする。

市民アンケート調査票 第 4 回審議会でのアンケート調査に係る主な意見と対応方針（案）

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
<p>Q1 あなたはごみの減量や分別、リサイクルについて関心がありますか。(〇は1つ)</p> <p>1. ある } → Q2 へ 2. 多少ある } 3. ない → Q3 へ</p>			<p>興味・関心の把握のため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒「ある」や「多少ある」の回答割合が低いのか・前回より低くなっていないかを確認し、市民の関心度に根本的な問題がないかを確認する。</p>
<p>Q2 Q1で「1.ある」または「2.多少ある」と答えた方にお聞きします。ごみの減量や分別、リサイクルについてどのような内容に関心があり、もっと知りたいものとなりますか。(〇は3つまで)</p> <p>★そもそもごみを減らすことが、ごみの収集運搬や処理に係るエネルギーを減らし、環境負荷を減らすことにつながります。</p> <p>1. ごみの分別の種類や出し方 2. ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル) 3. 生ごみの減量化(水切りや生ごみ処理機の利用) 4. 生ごみ以外の家庭でできるごみ減量方法 5. フリーマーケットやリユース品販売セールなどリユースに関する情報 6. 集団回収(地域の資源回収運動) 7. 販売店で店頭回収しているものや、回収場所 8. ごみの不法投棄やたばこのポイ捨て 9. ごみ・資源物の排出量 10. ごみ・資源物のゆくえ 11. ごみ処理コスト 12. その他(具体的に)</p>	<p>・ごみ処理にかかるコストについて知ることができる内容も盛り込んで良いのではないか。(中村委員) ・「ごみの処理コスト」の項目を追加したほうが良いのではないか。(岡山副会長) ・「何がもっと知りたいものとなりますか」という部分について、違和感があるように感じた。(渡辺会長) ・設問文「もっと知りたいものとなりますか。」を変更したほうが良いのではないか。(林委員) ・「生ごみ以外の家庭でできるごみ減量方法」の回答に期待することはなにか。(林委員)</p>	<p>・11に「ごみ処理コスト」の選択肢を追加する。</p> <p>・設問文を「～リサイクルについてどのような内容に関心がありますか。」とする。</p> <p>・設問そのものの活用としては、(参考)にある通り、回答の多い項目について、情報提供を強化することなどを考えている(なお、家庭で取り組める具体的減量方法などについては、ワークショップで意見を出してもらうことも1つの案として考えているため、今後審議会へもご相談させていただきたい)。</p>	<p>市民が関心を持ち、必要としている情報の把握のため。 ⇒回答の多い項目について、情報提供を強化する。</p>
<p>Q3 ごみの分別はどの程度行っていますか。(〇は1つ)</p> <p>1. 徹底している } 2. 徹底を心掛けているが、分からないものは混ぜて出している } → Q5 へ 3. あまりしていない } 4. していない } → Q4 へ</p>			<p>分別状況の把握のため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒「あまりしていない」「していない」方に対し、Q4で理由を聞くことで、分別しない理由を確認する。</p>

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
<p>Q4 Q3で「3.あまりしていない」または「4.していない」と答えた方にお聞きします。 その理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 収集日が分からない 2. 分別方法が分からない 3. 家庭内にごみの保管や分別を行うスペースがないから 4. 手間がかかるから 5. 興味が無いから 6. その他(具体的に)() 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回回答は「手間がかかる」が多かったが、どうすればごみの分別ができるようになると思うか等、一歩踏み込んだ設問がないと次につながらないのではないか。(北村委員) ・ どうしたらできるようになるのかというような切り口が欲しいというイメージである。(北村委員) ・ 「興味が無い」の項目を追加した方が良いのではないか。(岡山副会長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本設問では、ごみの分別ができない理由(課題)を聞いており、それを解決することで分別率を上げていきたい、という設定理由である。この回答をもって、分別がどうしたらできるようになるかを検討していく予定としている。 ・ 5に「興味が無いから」の選択肢を追加する。 	<p>分別をしていない方の理由を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い項目に関連させて、分別の方針・排出頻度や周知する内容を検討する。 (例えば、「4. 手間がかかるから」の回答が多ければ、分別排出までに手間がかかる方法だと分別率が下がることになるため、手間のかかりすぎる方法は可能な限り避けるべき、となる。 「3. 家庭内にごみの保管や分別を行うスペースがないから」の回答が多ければ、排出頻度を増やせば分別率が上がる見込みとなる。 「1. 収集日が分からない」「2. 分別方法が分からない」の回答が多ければ、収集日や分別方法をきちんと周知徹底することで、分別率が上がる見込みとなる。)</p>
<p>Q5 日ごろごみに関して目にしたり、聞いたりしている情報源はどのようなものですか。(〇は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市発行のごみ・リサイクルカレンダー 2. 市発行のごみ分別の手引き 3. 市報(市報こがねい、ごみ減量リサイクル特集号) 4. 市発行の分別啓発チラシ 5. 市役所・市職員に聞く 6. ごみゼロ化推進員(ごみの相談員)に聞く 7. 町会、自治会、子ども会などに聞く 8. 家族、友人、近隣の住民に聞く 9. 市のホームページ 10. スマートフォン用ごみ分別アプリ 11. インターネット・SNS 12. テレビの広報・広告 13. 新聞やチラシの広報・広告 14. 公共交通機関等の掲示物 15. 店舗等の施設内の掲示物 16. その他(具体的に)() 			<p>情報収集源を把握し、周知・広報等の手段の検討材料とするため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い情報源を活用した情報提供をより活用していく。</p>

調査票(前回審議会からの変更箇所)		審議会での主な意見				対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等																																																																										
<p>Q6 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。①から⑫の項目ごとに当てはまる番号を1つ選んでください。⑬についてはあれば具体的に記述してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組事項</th> <th colspan="4">取組の程度</th> </tr> <tr> <th>いつもしている</th> <th>ほとんどしている</th> <th>あまりしていない</th> <th>していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 生ごみは水気を切ってから出す</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>② 生ごみ処理機を使用している</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>③ マイはしやマイボトルを使っている</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>④ レジ袋は使わずマイバッグを持参して利用している</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑤ 過剰な包装は断る、または、簡易包装の商品を選ぶ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑥ 詰め替えタイプの商品を選ぶ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑦ 使い捨て製品を買わないようにする</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑧ 食品の買いすぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑨ 物をできるだけ長く使い、修理できるものは修理して大切に使う</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑩ 使わなくなったものを知人や他人に譲る(直接または SNS、フリマアプリ等を通じて)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑪ フリーマーケット、リサイクルショップなどを利用する</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑫ 店舗が行っている店頭回収を利用している</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td colspan="4"> その他取り組んでいること (記述、具体的に) </td> </tr> </tbody> </table>		取組事項	取組の程度				いつもしている	ほとんどしている	あまりしていない	していない	① 生ごみは水気を切ってから出す	1	2	3	4	② 生ごみ処理機を使用している	1	2	3	4	③ マイはしやマイボトルを使っている	1	2	3	4	④ レジ袋は使わずマイバッグを持参して利用している	1	2	3	4	⑤ 過剰な包装は断る、または、簡易包装の商品を選ぶ	1	2	3	4	⑥ 詰め替えタイプの商品を選ぶ	1	2	3	4	⑦ 使い捨て製品を買わないようにする	1	2	3	4	⑧ 食品の買いすぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする	1	2	3	4	⑨ 物をできるだけ長く使い、修理できるものは修理して大切に使う	1	2	3	4	⑩ 使わなくなったものを知人や他人に譲る(直接または SNS、フリマアプリ等を通じて)	1	2	3	4	⑪ フリーマーケット、リサイクルショップなどを利用する	1	2	3	4	⑫ 店舗が行っている店頭回収を利用している	1	2	3	4	⑬	その他取り組んでいること (記述、具体的に)									<p>(参考)設問設定理由・活用方法等</p> <p>取組状況の程度を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒程度の低い行動に対して、市として支援策等の強化ができるかを検討する。</p>
取組事項	取組の程度																																																																																
	いつもしている	ほとんどしている	あまりしていない	していない																																																																													
① 生ごみは水気を切ってから出す	1	2	3	4																																																																													
② 生ごみ処理機を使用している	1	2	3	4																																																																													
③ マイはしやマイボトルを使っている	1	2	3	4																																																																													
④ レジ袋は使わずマイバッグを持参して利用している	1	2	3	4																																																																													
⑤ 過剰な包装は断る、または、簡易包装の商品を選ぶ	1	2	3	4																																																																													
⑥ 詰め替えタイプの商品を選ぶ	1	2	3	4																																																																													
⑦ 使い捨て製品を買わないようにする	1	2	3	4																																																																													
⑧ 食品の買いすぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする	1	2	3	4																																																																													
⑨ 物をできるだけ長く使い、修理できるものは修理して大切に使う	1	2	3	4																																																																													
⑩ 使わなくなったものを知人や他人に譲る(直接または SNS、フリマアプリ等を通じて)	1	2	3	4																																																																													
⑪ フリーマーケット、リサイクルショップなどを利用する	1	2	3	4																																																																													
⑫ 店舗が行っている店頭回収を利用している	1	2	3	4																																																																													
⑬	その他取り組んでいること (記述、具体的に)																																																																																

調査票(前回審議会からの変更箇所)				審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
Q7 以下の市が行っている取組をご存知ですか、また利用したことがありますか。それぞれの取組について項目ごとに当てはまる番号を1つ選んでください。						市の実施している施策の認知度や活用度合いの把握をするため(前回回答との比較により変化も確認)。 また、施策そのものの周知のため。 ⇒認知度や活用度合いが低いものについて、より周知したり、利用度合いを高めたりするための手段を検討する。
		知っているし 利用・活用 したことが ある	知っているが 利用・活用は したことが ない	知らない		
①	ごみ・リサイクルカレンダー (全戸配布、ホームページ掲載)	1	2	3		
②	ごみの分別の手引き (窓口配布、ホームページ掲載)	1	2	3		
③	市報ごみ減量・リサイクル特集号 (年4回全戸配布)	1	2	3		
④	ごみ減量分別啓発チラシ(全戸配布)	1	2	3		
⑤	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	1	2	3		
⑥	希望者への講習会開催	1	2	3		
⑦	ごみ減量啓発アニメーション DVDの貸し出し	1	2	3		
⑧	ごみゼロ化推進員制度(ごみの相談員制度)	1	2	3		
⑨	協力店認定制度における協力店(リサイクル推進協力 店、食品ロス削減推進協力店)の利用	1	2	3		
⑩	資源物の集団回収	1	2	3		
⑪	小金井市が行っているリユース事業(ゆづる輪)	1	2	3		
⑫	マイボトル専用給水機の設置	1	2	3		

調査票(前回審議会からの変更箇所)				審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等	
Q8 市や店舗等が行っている拠点回収(無料)はご存知ですか。それぞれの品目について項目ごとに当てはまる番号を1つ選んでください。				<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みステンレス製ボトルとはどのようなものか、判断に迷ってしまうのではないかと。(光明委員) ・括弧して、「マイボトル・水筒」とするのが良いのではないかと。(岡山副会長) ・恒常的な取組みであれば、イトーヨーカドーの廃油回収を追加したほうが良いのではないかと。(岡山副会長・中村委員) ・⑦「くつ・かばん類」の細かい例があると分かりやすいのではないかと。(岸野委員) ・「くつ・かばん類」として対象にしているものもあるので、加えていただく。(渡辺会長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用済みステンレス製ボトル(水筒)」に変更する(市HPの表記は「使用済みステンレス製ボトル」)。 ・「廃油」を追加する。 ・「くつ・かばん類」の詳細な品目を追加する。 	拠点回収の利用状況の把握をするため(前回回答との比較により変化も確認)。 また、拠点回収そのものの周知のため。 ⇒「3 知らない」の回答が多い品目については、情報提供を強化する。 ⇒「2 知っているが利用・活用はしたことがない」の回答が多い品目については、排出場所の増加・改修時間の延長などができないかを検討する。	
		知っているが利用・活用したことがある	知っているが利用・活用はしたことがない				知らない
①	食品トレイ	1	2				3
②	紙バック	1	2				3
③	再生古紙(レシート、写真等)	1	2				3
④	ペットボトル	1	2				3
⑤	ペットボトルキャップ	1	2				3
⑥	生ごみ乾燥物(生ごみ処理機(乾燥型)から生成されたもの)	1	2				3
⑦	くつ・かばん類(くつ、かばん、ベルト、ぬいぐるみ)	1	2				3
⑧	使用済みステンレス製ボトル(水筒)	1	2				3
⑨	コンタクトレンズ空ケース	1	2	3			
⑩	廃食油	1	2	3			
Q9 「生ごみ」や「食品ロス」に関する①～⑤の設問について、当てはまるものを選んでください。				<ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限が切れた食品は食べられないと判断したら食品ロスではなくなってしまうため、食品ロスの定義について再考する必要があるのではないかと。(渡辺会長) ・選択肢②生ごみ投入リサイクル事業として、現在市の事業として実施していない「毎週土曜日」の文言を削除したほうが良い。(林委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載していた食品ロスの定義は消費者庁HPより引用していたが、環境省食品ロスポータルサイトの食品ロスの定義からの引用に変更し、「本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物」とすることで、「賞味期限が切れて食べられないと判断した食品」を「本来食べられる」の部分に含まれると解釈できる定義とする。 ・()内の情報は不要と考え、「毎週土曜日及び夏休み」を削除する。 	市の実施している食品ロスに関する施策の認知度や活用度合いの把握をするため。 また、施策そのものの周知のため。 ⇒認知度や活用度合いが低いものについて、より周知したり、利用度合いを高めたりするための手段を検討する。 ※取組自体は「タベスケ」になるので、小金井市では「小金井カメすけ」という愛称で、地域に根差したサービスを展開していることを記載。	
①市が行っている生ごみや食品ロスに関する取組はご存知ですか。それぞれの取組について、項目ごとに当てはまる番号を1つ選んでください。 ※食品ロス：本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物 ※小金井カメすけ：小売店や飲食店において、売れ残りそうな食品や規格外品などをWebサイト上に値引きして出品し、販売につなげる「タベスケ」の取組を活用し、本市では「小金井カメすけ」という愛称で、地域に根差したサービスとして展開しています							
		知っているが利用・活用したことがある	知っているが利用・活用はしたことがない				知らない
①	生ごみ減量化処理器 購入費補助制度	1	2				3
②	一部の小中学校で実施している 生ごみ投入リサイクル事業 (毎週土曜日及び夏休み)	1	2				3
③	生ごみ乾燥物から作られた堆肥 (食品リサイクル堆肥)の無料配布	1	2				3
④	フードドライブ事業	1	2	3			
⑤	小金井カメすけ(食品ロス削減プロジェクト)	1	2	3			

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
<p>② 普段あなたがこれまでにもっとも捨てた量が多い捨てていると思う「食品ロス」はどれですか。(〇は多いものを3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 消費期限(安全に食べることができる期限)が切れてしまった食品 賞味期限(おいしく食べることができる期限)が切れてしまった食品 使い残した野菜・青果、鮮魚・鮮肉などの食材 食べ残したおかず・そうざいなど その他(具体的に) 捨てたことがない 		<ul style="list-style-type: none"> わかりやすくなるよう設問文を修正する。 	<p>どのような食品ロスが多く捨てられているのか確認するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒「1. 消費期限(安全に食べることができる期限)が切れてしまった食品」「2. 賞味期限(おいしく食べることができる期限)が切れてしまった食品」の回答が多ければ、賞味期限、消費期限について正しい理解が進むよう啓発を強化する。「3. 使い残した野菜・青果、鮮魚・鮮肉などの食材」の回答が多ければ、エコ料理教室等を強化する。「4. 食べ残したおかず・そうざいなど」の回答が多ければ、食べ切れるようにするための方法についての啓発を強化する。</p>
<p>②-4 Q9②で「3. 使い残した野菜・青果、鮮魚・鮮肉などの食材使い残した食材」と答えた方にお聞きします。使い残した食材には過剰除去したものが含まれていますか。(〇は1つ)</p> <p>※過剰除去したもの：厚くむき過ぎた野菜の皮など、不可食部分を除去する際に可食部を過剰に除去したものの</p> <ol style="list-style-type: none"> 過剰除去を含むと思う 過剰除去を含まないと思う わからない 	<ul style="list-style-type: none"> どのような意図で設問を設けたのか。この設問からどのようなアクションにつなげるのか。次につなげることができる設問にするべき。(中村委員) 過剰除去についての設問は不要ではないか。代わりに期限表示への意識、期限を過ぎたものについての設問が良いのではないか。賞味期限、消費期限であろうが、期限が切れたものはほとんど捨てられているので、それらの事がわかるものが良いのではないか。(岡山副会長) 設問を載せるのであれば、「生ごみの中に過剰除去が含まれているか」という聞き方が良いのではないか。(渡辺会長) 	<ul style="list-style-type: none"> 過剰除去の定義が地域によって違い、統一的な見解が得られない可能性があること等から、頂戴したご意見を踏まえ設問を削除する。 期限表示についての意識については、賞味期限・消費期限の違いを知りたいという声がある3市ごみ減量推進市民会議のアンケート結果としてすでに出ているため方針としては情報提供を強化していくこととなり、今回は設問を追加しないこととしたい。なお、Q9②の選択肢1、2には賞味期限、消費期限の説明もあり、期限を過ぎたものについて捨てられているか否かは、それら選択肢1、2の回答状況から実態把握が可能と考える。 	

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
<p>③ 「食品ロス」を出さないために、日頃の生活の中でやっていることはありますか。(〇は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品は必要な分だけ買う 2. 賞味期限、消費期限の近い食品を早めを使う 3. 定期的に冷蔵庫の中身を整理する 4. 料理を作り過ぎない 5. 食材を無駄なく使う 6. 飲食店では食べられる量を注文する 7. その他(具体的に)() 8. 特に何もしていない 			<p>食品ロス削減に向けた、市民の行動の実施状況の確認のため(前回回答との比較により変化も確認)。 また、市民としてできる取組の周知のため。 ⇒回答の少ない取組に関連付けて、情報提供や事業者への協力依頼事項等を強化すべき内容を検討するため。</p>
<p>④ 食品ロス削減のための取組として、市に実施してほしいものは何ですか。(〇は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講習会 2. イベント 3. 広報誌・パンフレットの配布 4. エコ料理教室 5. 飲食店等と連携したキャンペーン 6. 食品ロス削減推進協力店の増加 7. その他(具体的に)() 8. 特にない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スマート冷蔵庫・AI冷蔵庫の補助」や「フードバントリー・コミュニティ冷蔵庫」などの具体的な施策があると良いのではないかと。(岡山副会長) ・複数回答になっているが、特にして欲しいものを2つまでと限定をした方がいい。(岡山副会長) ・「食品ロス削減協力店を増やす」の項目を追加しても良いのではないかと。(岡山委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状実施できる見込みがないため、選択肢には含めない。 ・他の設問とのバランスも考慮し、〇を3つまでにする。 ・「食品ロス削減推進協力店の増加」の選択肢を追加する。 	<p>食品ロスに関して、市民としてはどのような市の取組が必要と感じているのかを把握するため。 また、施策そのものの周知のため。 ⇒回答の多い取組については強化・拡充を図る。</p>
<p>⑤ 食品ロスを減らすために、事業者(小売店・メーカー等)に取り組んでほしいことはありますか。(〇はいくつでも)</p> <p>※小金井カメすけ:小売店や飲食店において、売れ残りそうな食品や規格外品などをWebサイト上に値引きして出品し、販売につなげる「タベスケ」の取組を活用し、本市では「小金井カメすけ」という愛称で、地域に根差したサービスとして展開しています</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 賞味期限が近い商品を購入することへの特典(値引き、ポイント付与など) *小金井カメすけ(食品ロス削減プロジェクト)も本取組の1つ 2. 必要量だけの販売・提供(少量パック、量り売り、小盛など) 3. 苦手な食材やアレルギーなどの確認 4. 食べきりの呼びかけ 5. 食べきれなかった料理の持ち帰りサービス 6. その他(具体的に)() 7. 特にない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「食べきれなかった料理の持ち帰りサービス」について、実際のところできるのか。(石原委員) ・持ち帰りは不可と保健所から言われている。基本的には目を瞑る事に対応しているが、それで何か起きた場合は店の責任となるため、基本的には実施できていない。(保谷委員) ・保健所の指導については市の方で何とかするものではない。(渡辺会長) ・国の方針では事業者には責任が被らないようにされているはずだが、実際に実施されているかどうかは不明。(岡山副会長) ・「2 必要量だけの販売・提供(少量パック、量り売り、小盛など)」について、量り売りだとプラスチックのケースがいらないなど、言葉より実際の行動の方から逆にしていった選択肢の方が良い。(石原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の国の動向や法解釈、頂戴したご意見を踏まえ選択肢5を削除する。 ・「量り売りだとプラスチックのケースがいらない」などと補足すると、情報量が多くなり何を問われているかわかりづらくなるため、選択肢はシンプルにしたい。 	<p>食品ロスに関して、市民としてはどのような事業者の取組が必要と感じているのかを把握するため。 ⇒回答の多い取組について特に事業所の協力を得られなしか検討する。</p> <p>※取組自体は「タベスケ」になるので、小金井市では「小金井カメすけ」という愛称で、地域に根差したサービスを展開していることを記載。</p>

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
<p>Q10 プラスチックごみや燃やさないごみ等の出し方について、①～③の出し方で当てはまるものを1つずつ選んでください。</p> <p><u>①プラスチック製容器包装とプラスチックだけでできている製品のうち、汚れないものはどのごみの日にしていますか。</u></p> <p>1. プラスチックごみの日にしている 2. 燃やすごみの日にしている 3. 燃やさないごみの日にしている 4. その他(具体的に) ()</p>			<p>プラスチック類の排出状況の把握のため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒「2. 燃やすごみの日にしている」や「3. 燃やさないごみの日にしている」が多いと分別率が低いとなるので、プラスチックの出し方についての啓発を強化する。</p>
<p><u>②プラスチック製容器包装とプラスチックだけでできている製品のうち、汚れたものはどのごみの日にしていますか。</u></p> <p>★容器の汚れや食べ残しなどは、水で軽くゆすぐか拭き取るなどして、汚れを落としてから出してください。</p> <p>1. 汚れを落として、プラスチックごみの日にしている 2. 汚れを落とさずで、プラスチックごみの日にしている 3. 燃やすごみの日にしている 4. 燃やさないごみの日にしている 5. その他(具体的に) ()</p>	<p>・容器の汚れや食べ残しなどは、必ず洗い流さなくてはならないのか。拭き取るではダメなのか。(渡辺会長) ・容器の汚れや食べ残しは、「きちんと落とし、よく水切りしてください」でなければならないのか。(林委員)</p>	<p>・汚れが落とされていることが求められているため、記載内容を修正する。</p>	<p>汚れたプラスチック類の及び排出状況の把握のため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒把握した排出実態に応じて、啓発を強化する (「2.汚れを落とさずで、プラスチックごみの日にしている」が多ければ、水で軽くゆすぐ、拭き取るなど、リサイクルの質の向上への啓発を強化、「3. 燃やすごみの日にしている」「4. 燃やさないごみの日にしている」が多ければ、適正な排出方法の啓発を強化する)</p>
<p><u>③充電式電池(リチウムイオン電池等)が内蔵されている製品を捨てる時、正しい方法で捨てていますか。</u></p> <p>※正しい排出方法：販売店等の拠点回収 または 電池を取り外せるもの→電池を取り外し、電池を有害ごみの日に出す (電池を取り外した製品はプラスチックごみ、燃やさないごみなどルールに従って捨てる) 電池を取り外せないもの→販売店の拠点回収に出す、または「電池を外せない」と貼り紙をして有害ごみの日に出す</p> <p>1. 正しい方法で捨てている 2. 正しい方法で捨てていない → ③-2へ</p>		追加設問	<p>リチウムイオン電池の排出状況の把握のため。 また、電池の正しい排出方法の周知のため。 ⇒品目別に把握した排出実態に応じて、啓発を強化する。</p>
<p><u>③-2 Q10③で「2.正しい方法で捨てていない」と答えた方にお聞きします。充電式電池が内蔵されている製品を捨てる時、どのように捨てていますか。</u></p> <p>1. 電池の取り外し可否に関わらず、可燃ごみの日にしている 2. 電池の取り外し可否に関わらず、不燃ごみの日にしている 3. 電池の取り外し可否に関わらず、有害ごみにしている 4. その他(具体的に) ()</p>	<p>・設問の前に電池を取り出すか、取り出さないかを問う設問を追加しても良いのではないのか。(渡辺会長)</p>	<p>・設問と選択肢自体を変更する。</p>	

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法等
<p>Q11 家庭で不要になったものをごみとして捨てるのではなく、再使用するリユースについては、インターネットやスマートフォンの普及に伴い、民間事業者を中心に様々な取組が進んでいますが、どのようなリユース事業を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)</p> <p>★本市は、不要品リユースプラットフォーム「おいくら」、不要となったものを廃棄する前の地域情報サイト「ジモティー」と連携しています。</p> <p>1. フリマアプリ(例:市は地域情報サイト「ジモティー」と連携して粗大ごみの一部をリユースしています。)</p> <p>2. インターネットオークション</p> <p>3. リユースショップの店頭買取サービス</p> <p>4. 不要品出張買取サービス(例:市は不要品の買取価格比較サービスである「おいくら」と連携しています)</p> <p>5. 公園などで開催されるフリーマーケット</p> <p>6. リユース事業を利用したことがない</p> <p>7. その他(具体的に) ()</p>	<p>・「おいくら」、「ジモティー」の選択肢における該当箇所の説明があると分かりやすいのではないかと。(渡辺会長)</p>	<p>・該当する選択肢に()で追記する形とする。</p>	<p>リユース関連サービス利用状況の把握のため。 ⇒回答の多いものが市民にとって利用しやすいサービスと考えられるため、それらへの誘導策について検討を行う。</p>
<p>Q12 さらなるごみの減量や分別、リサイクルを進めていくためには、どのような市の施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)</p> <p>1. ごみをさらに減量するための啓発</p> <p>2. ごみの分別をさらに徹底するための啓発</p> <p>3. ごみやリサイクルに関する情報発信の充実</p> <p>4. ごみについて学習する機会の提供(学校教育の充実を含む)</p> <p>5. 集団回収への積極的な参加の促進</p> <p>6. 生産者、販売者への自主回収促進・品目拡充等の働きかけ(スーパー等での店頭回収を含む)</p> <p>7. 資源循環の推進</p> <p>8. その他(具体的に) ()</p>	<p>・難しいと思うが強制的な手段としては、プラスチックごみの値段と可燃ごみの値段が同じであるため、プラスチックごみの価格を下げる、あるいは可燃ごみの価格を上げることも考えられる。また、収集回数の変更も効果的である。(岡山副会長)</p> <p>・スーパーでトレイとペットボトルだけでなく、プラスチック容器包装全てを引き取って欲しいなどの声も含めるべきである。要するに市民としてこうであつたらいいのにというものが、含まれていても良いと思う。(岡山副会長)</p>	<p>・選択肢全般を幅広に設定しているので、ご提案の内容についてももしあれば、自由意見で幅広に拾うことを想定している。</p> <p>・選択肢6を「生産者、販売者への自主回収促進・品目拡充等の働きかけ(スーパー等での店頭回収を含む)」に変更する。</p>	<p>市民が市に求める施策を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い施策について優先的に強化・拡充を図れないか、検討を行う。</p>
<p>ごみ減量や分別、リサイクルについてのご意見などを自由にお書きください。</p>			<p>普段考えていること等を自由に書いてもらうため。 ⇒意見は類型化して整理するとともに、参考になる意見があった時にはそれを元にした検討を行う。</p>

事業所アンケート調査票 第4回審議会でのアンケート調査に係る主な意見と対応方針(案)

調査票(前回審議会からの変更箇所)				審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法																																																																										
<p>Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。分別の有無については行っているものに○を、排出方法については下記の選択肢から該当する番号をそれぞれ選んで、番号を記入してください。(複数の場合は多いものを記入してください)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>排出方法</th> <th>分別の有無</th> <th>分別していない理由 (排出方法で⑩の場合は記入不要)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【記入例】 生ごみ・食品廃棄物</td> <td>①</td> <td>○</td> <td>※「分別の有無」で○以外の場合、記入</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃ごみ</td> <td>生ごみ・食品廃棄物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>食用廃油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダンボール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コピー用紙、OA用紙</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機密文書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ざつがみ(メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>落ち葉、剪定枝</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他可燃物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">不燃ごみ</td> <td>ペットボトル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プラスチック類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>缶類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>びん</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他不燃物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">粗大ごみ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">その他(具体的に)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>()</p> <p>《選択肢》</p> <p>① 一般廃棄物収集運搬業者にごみとして出している</p> <p>② 一般廃棄物収集運搬業者に資源物として出している</p> <p>③ 事業用指定収集袋で出している</p> <p>④ 産業廃棄物処理業者に処理を委託している</p> <p>⑤ リサイクル業者に売却している</p> <p>⑥ 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している</p> <p>⑦ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている</p> <p>⑧ 納入業者(販売者)が回収している</p> <p>⑨ 本社(本店)が一括しているので分からない</p> <p>⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない</p> <p>⑪ 発生しない</p> </td> <td> <p>・「その他の可燃物」「その他の不燃物」とはどのようなものか分かりづらい。「その他」と何が違うのか。(長友委員)</p> <p>・「その他の可燃物」「その他の不燃物」の記載は分かりやすくする工夫が必要ではないか。(渡辺会長)</p> <p>・可燃物を一段インデントして、その中に、その他可燃物までがあるのがよいのではないか。(中村委員)</p> <p>・あまり細かくそれぞれにこだわらず、アンケートを回答した人が解釈して行うものが、小金井市の現状だということである。あまり定義を付けない方がいいのではないか。そうしないと現状把握の意味がなくなってくると思う。(溝入委員)</p> </td> <td> <p>・縦線を追加して表の構成を変更する。なお、「その他」については、岡山副会長からご意見のあった通り、特殊なものが出る事業所がある場合に使用することを想定しており、残している。</p> </td> <td> <p>事業系ごみの排出実態を品目別に把握するため(前回回答との比較により変化も確認*)。</p> <p>※事業所アンケートは市民アンケートと比較してサンプル数が少ないため、また、業種によって状況が異なることも多いため、明らかに回答が少ないものは前回回答とは無理には比較せず、今回の結果をもって方針等を検討する。</p> <p>⇒分別していない品目が今後資源化できる余地のある品目となるため、それら品目の資源化に向けた市の施策を検討する。また、排出方法で「⑨ 本社(本店)が一括しているので分からない」「⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない」との回答が多い場合は、そもそも排出者としてごみの品目別の処理実態を認識しておくべきとの啓発を強化する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>				品目	排出方法	分別の有無	分別していない理由 (排出方法で⑩の場合は記入不要)	【記入例】 生ごみ・食品廃棄物	①	○	※「分別の有無」で○以外の場合、記入	燃ごみ	生ごみ・食品廃棄物			食用廃油			新聞			雑誌			ダンボール			コピー用紙、OA用紙			機密文書			ざつがみ(メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)			落ち葉、剪定枝			その他可燃物			不燃ごみ	ペットボトル			プラスチック類			缶類			びん				その他不燃物			粗大ごみ							その他(具体的に)							<p>()</p> <p>《選択肢》</p> <p>① 一般廃棄物収集運搬業者にごみとして出している</p> <p>② 一般廃棄物収集運搬業者に資源物として出している</p> <p>③ 事業用指定収集袋で出している</p> <p>④ 産業廃棄物処理業者に処理を委託している</p> <p>⑤ リサイクル業者に売却している</p> <p>⑥ 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している</p> <p>⑦ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている</p> <p>⑧ 納入業者(販売者)が回収している</p> <p>⑨ 本社(本店)が一括しているので分からない</p> <p>⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない</p> <p>⑪ 発生しない</p>				<p>・「その他の可燃物」「その他の不燃物」とはどのようなものか分かりづらい。「その他」と何が違うのか。(長友委員)</p> <p>・「その他の可燃物」「その他の不燃物」の記載は分かりやすくする工夫が必要ではないか。(渡辺会長)</p> <p>・可燃物を一段インデントして、その中に、その他可燃物までがあるのがよいのではないか。(中村委員)</p> <p>・あまり細かくそれぞれにこだわらず、アンケートを回答した人が解釈して行うものが、小金井市の現状だということである。あまり定義を付けない方がいいのではないか。そうしないと現状把握の意味がなくなってくると思う。(溝入委員)</p>	<p>・縦線を追加して表の構成を変更する。なお、「その他」については、岡山副会長からご意見のあった通り、特殊なものが出る事業所がある場合に使用することを想定しており、残している。</p>	<p>事業系ごみの排出実態を品目別に把握するため(前回回答との比較により変化も確認*)。</p> <p>※事業所アンケートは市民アンケートと比較してサンプル数が少ないため、また、業種によって状況が異なることも多いため、明らかに回答が少ないものは前回回答とは無理には比較せず、今回の結果をもって方針等を検討する。</p> <p>⇒分別していない品目が今後資源化できる余地のある品目となるため、それら品目の資源化に向けた市の施策を検討する。また、排出方法で「⑨ 本社(本店)が一括しているので分からない」「⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない」との回答が多い場合は、そもそも排出者としてごみの品目別の処理実態を認識しておくべきとの啓発を強化する。</p>
品目	排出方法	分別の有無	分別していない理由 (排出方法で⑩の場合は記入不要)																																																																													
【記入例】 生ごみ・食品廃棄物	①	○	※「分別の有無」で○以外の場合、記入																																																																													
燃ごみ	生ごみ・食品廃棄物																																																																															
	食用廃油																																																																															
	新聞																																																																															
	雑誌																																																																															
	ダンボール																																																																															
	コピー用紙、OA用紙																																																																															
	機密文書																																																																															
	ざつがみ(メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)																																																																															
	落ち葉、剪定枝																																																																															
	その他可燃物																																																																															
不燃ごみ	ペットボトル																																																																															
	プラスチック類																																																																															
	缶類																																																																															
	びん																																																																															
	その他不燃物																																																																															
粗大ごみ																																																																																
その他(具体的に)																																																																																
<p>()</p> <p>《選択肢》</p> <p>① 一般廃棄物収集運搬業者にごみとして出している</p> <p>② 一般廃棄物収集運搬業者に資源物として出している</p> <p>③ 事業用指定収集袋で出している</p> <p>④ 産業廃棄物処理業者に処理を委託している</p> <p>⑤ リサイクル業者に売却している</p> <p>⑥ 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している</p> <p>⑦ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている</p> <p>⑧ 納入業者(販売者)が回収している</p> <p>⑨ 本社(本店)が一括しているので分からない</p> <p>⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない</p> <p>⑪ 発生しない</p>				<p>・「その他の可燃物」「その他の不燃物」とはどのようなものか分かりづらい。「その他」と何が違うのか。(長友委員)</p> <p>・「その他の可燃物」「その他の不燃物」の記載は分かりやすくする工夫が必要ではないか。(渡辺会長)</p> <p>・可燃物を一段インデントして、その中に、その他可燃物までがあるのがよいのではないか。(中村委員)</p> <p>・あまり細かくそれぞれにこだわらず、アンケートを回答した人が解釈して行うものが、小金井市の現状だということである。あまり定義を付けない方がいいのではないか。そうしないと現状把握の意味がなくなってくると思う。(溝入委員)</p>	<p>・縦線を追加して表の構成を変更する。なお、「その他」については、岡山副会長からご意見のあった通り、特殊なものが出る事業所がある場合に使用することを想定しており、残している。</p>	<p>事業系ごみの排出実態を品目別に把握するため(前回回答との比較により変化も確認*)。</p> <p>※事業所アンケートは市民アンケートと比較してサンプル数が少ないため、また、業種によって状況が異なることも多いため、明らかに回答が少ないものは前回回答とは無理には比較せず、今回の結果をもって方針等を検討する。</p> <p>⇒分別していない品目が今後資源化できる余地のある品目となるため、それら品目の資源化に向けた市の施策を検討する。また、排出方法で「⑨ 本社(本店)が一括しているので分からない」「⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない」との回答が多い場合は、そもそも排出者としてごみの品目別の処理実態を認識しておくべきとの啓発を強化する。</p>																																																																										

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法
<p>Q2 Q1で排出方法「④ 事業用指定袋で出している」を1つでも選択した方にお聞きします。事業用指定袋には排出事業者名を記載する欄があることをご存知ですか。(〇は1つ)</p> <p>1. 知っているし、記載している 2. 知っているが、記載していない 3. 知らない</p>	X	<p>・事業用指定袋に排出事業者名を必ず記載してもらいうるが、無い場合、削除する。</p>	X
<p>Q2 貴事業所のごみ減量・リサイクルに関する取組状況はどの程度でしょうか。についてお聞きします。(〇は1つ)</p> <p>1. 積極的に取組を進めている 2. ある程度、取組を進めている 3. どちらかといえば取組には消極的である 4. ほとんど取り組んでいない</p>	X	<p>・「取組状況はどの程度でしょうか。」に設問文を修正する。</p>	<p>事業所における減量・リサイクルの取組の程度についての実態を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒「3.どちらかといえば取組には消極的である」「4.ほとんど取り組んでいない」の回答が多い場合は、ごみ・リサイクルの必要性やメリットを感じていない可能性が高いため、それらについての情報提供を強化・拡充する。</p>
<p>Q3 貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに関してどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)</p> <p>1. 市が行っている「出張講座」を活用した講演会を実施している 2. 市の協力店認定制度(リサイクル推進協力店、食品ロス削減推進協力店)に認定されている 3. 減量目標を定めて、ごみの減量に取り組んでいる 4. ごみの減量化やリサイクルを事業所内に呼びかけている(ポスターや注意書きの掲示など) 5. ごみの減量化やリサイクルを推進する部署や担当者を設置している 6. ごみの減量化やリサイクルのマニュアルを作成している 7. ごみに関する検討委員会や組織を設置している 8. 取引先や納入業者に簡易包装等の省資源化や通い箱の使用を依頼している 9. 書類のペーパーレス化に努めている 10. 再生紙など再生用品の使用に努めている 11. 古紙回収箱を設置している 12. 缶やびんの分別回収箱を設置している 11. 周辺の事業所と協働して古紙をリサイクルしている 12. 排出するごみや資源物の排出量並びに収集運搬・処理料金を把握している 13. 紙コップやストローなど、使い捨て製品の使用削減に努めている 14. 食品リサイクル法に準じ、食品を分別してリサイクルを行っている 17. 産業廃棄物については、マニフェストを保管している 15. 回収箱を設置している(回収品目:) 16. 特に取り組んでいない 17. その他(具体的に)()</p>	X	<p>・回収箱に関する選択肢は1つにまとめ(選択肢11、12)、回収品目を記述式とする。</p> <p>・「17 産業廃棄物については、マニフェストを保管している」について、廃掃法にて5年間の保存が義務付けられており、あえて選択肢に入れる必要がないことから、削除する。</p>	<p>事業所における減量・リサイクルの取組の内容についての実態を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 また、事業所として実施し得る取組の周知のため。 ⇒取り組みづらいものについては、必要性や効果の説明をしていくことで、実施率を高める。</p>
<p>Q4 貴事業所では、ペットボトル削減に向けてウォーターサーバーを設置する予定はありますか。(〇は1つ)</p> <p>1. ある 2. ない 3. すでに設置している 4. その他(具体的に)()</p>	X	X	<p>既に予定している市のウォーターサーバー設置の取組に向けた情報収集のため。 ⇒設置していない事業者を把握し、需要の程度を想定する。</p>

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法
<p>Q5 貴事業所で、ごみ減量・リサイクルに取り組む主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> ごみを減らすことでコスト削減につながるため 会社の社会的責任を果たすため 会社の宣伝やイメージアップを図るため ISO14001等の認証を取得した(または取得したい)ため 法律で定められているため 会社全体で規定されているため その他(具体的に)() 			<p>事業所の考える減量・リサイクルの理由を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒なぜ減量・リサイクルに取り組むべきかの説明方法や、市としてできる支援策の検討をしていく。 〔「1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため」の回答が多ければ、コストに見合った手法でない選択されないと捉えることができる。また、「2. 会社の社会的責任を果たすため」「3. 会社の宣伝やイメージアップを図るため」「4. ISO14001等の認証を取得した(または取得したい)ため」の回答が多ければ、コストが多少かかっても取組を推進する意欲があると捉えることができる。さらに、「5. 法律で定められているため」「6. 会社全体で規定されているため」の回答が多ければ、やられている感が強いと捉えることができる。〕</p>
<p>Q6 事業活動によって発生するごみは事業者の責任において処理することが義務付けられています。このことについて知っていますか。(〇は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 知っている 知らなかった 			<p>排出者責任の認知度の確認のため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒「2. 知らなかった」の回答が多ければ、情報提供を行う上でのHPやパンフレット等での記載、指導等の機会を活用して、周知徹底を図る。</p>
<p>Q7 貴事業所で、ごみ減量・リサイクルを進めていくうえでの主な問題点は何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 資源物を保管しておく場所がない 資源物やリサイクル可能な不用品の引渡し先(回収業者)が分からない・ない 従業員に分別の徹底やごみ減量の意識を浸透させることが難しい ごみの減量や分別に手間がかかる 機密書類が多く、リサイクルが難しい 様々な法令や分別・排出方法のルールが分からない、理解しにくい ごみ処理について質問や相談する窓口(市)が分からない 8. 市外に一般廃棄物を運搬することができない 特に問題ない その他(具体的に)() 		<p>・回答が想定されない選択肢のため、選択肢8を削除する。</p>	<p>事業系ごみの減量・リサイクルの問題点を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い項目に対して、解決するために市ができる取組を検討する。</p>

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法
<p>Q8 貴事業所で、今後排出量を減らしたり、リサイクルに回したいと考えている品目はありますか。(〇はいくつでも)</p> <p>1. 生ごみ・食品廃棄物 2. 廃食用油 3. 新聞、雑誌 4. ダンボール 5. コピー用紙、OA用紙 6. 機密文書 7. ざつがみ(メモ用紙、伝票、封筒、空箱、シュレッダーくず) 8. 紙おむつ 9. ペットボトル 10. プラスチック類 11. 缶類 12. ビン 12. 不燃ごみ 13. 粗大ごみ 14. 紙おむつ 14. その他(具体的に) () 15. 特になし</p>	<p>・「特になし」という項目を追加するべきではないか。(光明委員) ・12に不燃ごみはあるが、可燃ごみがないので入れていただきたい。(岡山副会長)</p>	<p>・「その他」の後に「特になし」の選択肢を追加する。 ・「14 紙おむつ」を「7 ざつがみ」の次にする(選択肢8)。 ・「不燃ごみ」を削除し、「その他」として具体的な品目の回答を求める。</p>	<p>事業所が考える減量・リサイクルのターゲットとなる品目を把握するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い品目に対して、市で支援等ができないかの検討を行う。</p>
<p>Q9 食品を提供している事業所(小売店・飲食店・メーカー等)の方にお聞きます。食品ロスを減らすために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでもーただし10を選択する場合は〇は1つ)</p> <p>※小金井カメすけ：小売店や飲食店において、売れ残りそうな食品や規格外品などをWebサイトに値引きして出品し、販売につなげる「タベスケ」の取組を活用し、本市では「小金井カメすけ」という愛称で、地域に根差したサービスとして展開しています</p> <p>1. 賞味期限が近い商品を購入することへの特典付与(値引き、ポイント付与など) *小金井カメすけ(食品ロス削減プロジェクト)も本取組の1つ 2. 必要な量だけの販売・提供(少量パック、量り売り、小盛メニューなど) 3. 食品提供時の苦手な食材やアレルギーなどの確認や明示 4. 食べきりの呼びかけ 5. 食べきれなかった料理の持ち帰りサービス 6. 食べきることへの特典(値引き、ポイント付与など) 7. 食品ロスを減らすための事業への参画 8. その他(具体的に) () 9. 特になし 10. (食品を提供している事業所に) 当てはまらない</p>			<p>食品ロス削減に向けた、事業所による行動の実施状況の把握のため。</p> <p>※取組自体は「タベスケ」になるので、小金井市では「小金井カメすけ」という愛称で、地域に根差したサービスを展開していることを記載。</p>
<p>Q10 食品ロス削減のための取組として市に実施してほしいものは何ですか。(〇はいくつでも)</p> <p>1. 講習会 2. イベント 3. 広報誌・パンフレットの配布 4. 飲食店等と連携したキャンペーン 5. その他(具体的に) () 6. 特になし</p>		<p>・設問の「食品ロス削減啓発」を「食品ロス削減のための取組」に修正する。</p>	<p>事業者が必要と考える市の食品ロス関連施策を確認するため。 ⇒回答の多い取組については強化・拡充を図る。</p>

調査票(前回審議会からの変更箇所)	審議会での主な意見	対応方針(案)	(参考)設問設定理由・活用方法
<p>Q11 あなたが日ごろ、ごみに関して目にしたり、聞いたりしている情報源はどのようなものですか。(〇は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市発行のごみ・リサイクルカレンダー 2. 市発行のごみ分別の手引き 3. 市報(市報こがねい、ごみ減量リサイクル特集号) 4. 市発行の分別啓発チラシ 5. 新聞やチラシの広報・広告 6. 市のホームページ 7. インターネット・SNS 8. 収集運搬業者への問い合わせ 9. 同業者や加盟団体などへの問い合わせ 10. 市役所への問い合わせ 11. 特になし 12. その他(具体的に)() 			<p>普段事業者が利用している情報源を確認するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い情報源を活用した情報提供をより活用していく。</p>
<p>Q12 さらなる市のごみ減量・リサイクルを進めていくうえで、取組を促進するためにはどのような市の施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導 2. ごみ減量・リサイクルマニュアルの提供 3. 優良事業所の紹介や表彰 4. ごみ減量・リサイクルの事例紹介 5. 収集運搬業者、廃棄物処理業者、リサイクル事業者に関する情報提供 6. 法令や条例等の規制に関する情報提供 7. ごみ処理に関する相談窓口や体制の充実 8. 事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催 9. 罰則制度*の強化・徹底 10. ごみ収集運搬業者の指導強化 11. 資源化できる資源物の種類拡大 12. 従業員の意識向上のための社内研修等への講師派遣や資料提供等の支援 13. その他(具体的に)() 14. 特に必要ない <p>※廃棄物処理法では、不法投棄や不法焼却、廃棄物処理業の無許可営業、廃棄物の不正輸出等の違反に対し、罰金や懲役を定めています。</p>	<p>・「特になし」という項目がなく、丸がなければ特になしというように判断するのか、回答の意識を統一する必要があると思われる。(光明委員)</p> <p>・罰則制度に関連する事だが、事業者の場合、罰だけでなくインセンティブなどの給を与えるのはどうか。例えばISO14000を取得していると、ごみ袋が安く購入できる、減税される等、プラスに働く施策を市としてやるつもりがあるのであれば、挙げてよいと思う。(中村委員)</p>	<p>・「14 特に必要ない」を追加する。</p> <p>・「3. 優良事業所の紹介や表彰」はインセンティブ付与の施策であるが、その他のインセンティブ付与の施策については現時点で明確に追加できるものがない。特に必要と思うものは、「その他」で具体的に書いてもらうこととした。</p>	<p>事業者が必要と考える市の施策を確認するため(前回回答との比較により変化も確認)。 ⇒回答の多い施策について優先的に強化・拡充を図れないか、検討を行う。</p>
<p>ごみ減量や分別、リサイクルについてのご意見などを自由にお書きください。</p>			<p>普段考えていること等を自由に書いてもらうため。 ⇒意見は類型化して整理するとともに、参考になる意見があった時にはそれを元にした検討を行う。</p>



こつこつカメちゃん

黄色網掛け箇所は調整中

ごみ減量・リサイクルに関する 市民アンケート調査のお願い



くるくるカメくん

資料 4

市民の皆様には、平素から小金井市の廃棄物行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本市では、平成18年に「ごみ非常事態宣言」を発して以降、循環型社会の形成に向け様々なごみの減量・リサイクルに向けた施策を講じるとともに廃棄物や資源物の適正処理を図るための施設整備を進めてきました。燃やすごみについては、日野市内に「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設」が令和2年3月に完成し、3市（日野市、国分寺市、小金井市）による共同処理を開始しました。不燃・粗大ごみについては、令和4年8月の「小金井市野川クリーンセンター」、資源物等については、令和7年3月の「メタウォーターサステナブルパークこがねい」の稼働をもって、令和6年度中に資源循環社会の形成に向けた清掃関連施設整備事業が完了し、積替え保管から資源物処理までを行うこととなります。これら清掃関連施設の安定的な維持管理と、持続可能な社会を目指すため、令和2年3月に策定した「小金井市一般廃棄物処理基本計画」（計画期間：令和2～12年度）の見直しを行い、市民の皆様とともに引き続き「ごみの発生抑制」を最優先とした3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進を進めて参りたいと考えています。

本アンケート調査は、市民の皆様のごみの分別や減量、食品ロスに関する意識等を把握し、「小金井市一般廃棄物処理基本計画」策定の基礎資料として活用することを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力をお願い申し上げます。

令和7年1月 小金井市 環境部 ごみ対策課

●調査票の記入に際して

- ・ 封筒宛名のご本人がご回答ください。お名前を書く必要はありません。ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族の方がご回答ください。
- ・ ご回答は、①下記の二次元バーコードを読み取り、Webで回答いただく方法、②調査票に直接記入し、返信用封筒（切手不要）に入れて郵送いただく方法、③調査票に直接記入し、FAXで送っていただく方法のいずれか1つの方法をお願いします。回答は、下記の締切までをお願いいたします。

締切：令和7年1月〇〇日（〇曜日）

●対象者の抽出方法、個人情報の取り扱い

- ・ この調査票は、小金井市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選んだ3,000人の方にお送りしております。
- ・ 回答はすべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
- ・ 得られた情報は調査目的以外に使用することはありません。

●ご質問・お問合せ先

小金井市 環境部 ごみ対策課

電話：042-387-9854 F A X：042-383-6577

●調査票管理番号

： C0001

調査票の冒頭に管理番号記載欄がありますので、そちらにご記入下さい。

Webで回答される場合も、入力欄がありますので、ご入力ください。

なお、管理番号は集計結果管理に用い、個人を特定するものではありません。



- Webで回答される場合のURL：<https://questant.jp/q/1YYNVRP5>



こつこつカメちゃん

黄色網掛け箇所は調整中

ごみ減量・リサイクルに関する 事業所アンケート調査のお願い



くるくるカメくん

資料 5

事業者の皆様には、平素から小金井市の廃棄物行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本市では、平成18年に「ごみ非常事態宣言」を発し、これまで様々なごみの減量・リサイクルに向けた施策を講じるとともに廃棄物や資源物の適正処理を図るための施設整備を進めてきました。燃やすごみについては、日野市内に「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設」が令和2年3月に完成し、3市（日野市、国分寺市、小金井市）による共同処理を開始しました。また、令和6年度中に資源循環社会の形成に向けた清掃関連施設整備事業が完了し、積替え保管から資源物処理までを行うこととなります。これら清掃関連施設の安定的な維持管理と、持続可能な社会を目指すため、令和2年3月に策定した「小金井市一般廃棄物処理基本計画」（計画期間：令和2～12年度）の見直しを行い、皆様とともに引き続き「ごみの発生抑制」を最優先とした3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進を進めて参りたいと考えています。

本アンケート調査は、市内のごみや資源物の発生状況や処理・処分状況等、事業者のごみ減量やリサイクルについての意識や取組状況、想定される施策に対するご意見等を把握し、「小金井市一般廃棄物処理基本計画」策定の基礎資料として活用することを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力をお願い申し上げます。

令和7年1月 小金井市 環境部 ごみ対策課

●調査票の記入に際して

- ・ 本社・本店等ではなく、この調査票が届いた事務所・店舗等でご回答ください。基本的には普段ごみを扱っている人がご回答ください。
- ・ ご回答は、①調査票に直接記入し、返信用封筒（切手不要）に入れて郵送いただく方法、②調査票に直接記入し、FAXで送っていただく方法、③二次元バーコードを読み取って、webで回答いただく方法のいずれか1つの方法でお願いします。回答は、下記の締切までをお願いいたします。

締切：令和7年1月〇〇日（〇曜日）

●対象者の抽出方法、個人情報の取り扱い

- ・ この調査票は、小金井市内の事業所から、業種を考慮しつつ無作為に選んだ200事業所にお送りしています。
- ・ 回答はすべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
- ・ 得られた情報は調査目的以外に使用することはありません。

●ご質問・お問合せ先

小金井市 環境部 ごみ対策課 電話：042-387-9854 F A X：042-383-6577

●調査票管理番号 : B0001

調査票の冒頭に管理番号記載欄がありますので、そちらにご記入下さい。

Webで回答される場合も、入力欄がありますので、ご入力ください。

なお、管理番号は集計結果管理に用い、事業所を特定するものではありません。

●Webで回答される場合のURL : <https://questant.jp/q/OCXZQHSE>

